

EmpowerソフトウェアSystemsQT

このリリースノートでは、Waters® Empower® ソフトウェア SystemsQT™、および分析法バリデーションマネージャ（MVM）ソフトウェアを装備した Empower ソフトウェア SystemsQT について説明します。

要件： Empower 3 Feature Release 3 ソフトウェアをインストール済みである場合は、ソフトウェア SystemsQT を使用してソフトウェアの適格性評価を行うことができます。そのためには、SystemsQT for Software Empower 3 FR 3 フォルダーのDVD（品番 667004236 リビジョン E）のプロジェクト/ドキュメントを使用します。

最新情報

『Empower ソフトウェア SystemsQT のプロトコル』（品番 715005185JA）は、電子署名ワークフローを手書き署名ワークフローに調和させて簡略化するために行われた拡張について説明している新しいドキュメントです。

ネットワークを実装するお客様が増えつつあるため、ワークグループおよびワークステーション用のツールの機能を維持しながら、複数のノードの複数の据付時適格性評価（IQ）および運転時適格性評価（OQ）のアクティビティに関連する課題を支援できるように、既存のツールを更新することが重要です。

EmpowerソフトウェアSystemsQTは、以前のEmpower 3用ConnectionsAQTおよびEmpower 3 MVM用ConnectionsAQTの後継ツールです。この新しいバージョンは、Empower 3 Feature Release 3 でのみ使用可能です。

Empower ソフトウェア SystemsQT を使用すると、SQT ウィザードを使用して、リクエストとノードを選択することによって適格性評価要求を開始できます。要求が開始されると、ノードのプロパティの [IQ/OQ] タブに以前から存在している情報（ステータス、実行日、コメント）が消去され、開始された選択ノードおよびリクエストの実行日が自動的に入力されます。この機能によって、適格性評価要求がいつ行われたかを正確に監視できます。

Valid_OQ1 プロジェクトには、SQT ウィザードで選択された指定ノードで自動的に処理される新しいサンプルセットが含まれています。現在、フィルターには、結果に関連するノードを識別して、結果の確認とレポートを容易にするために、[結果セット] タブおよび [結果] タブに追加のフィールド「IQ/OQ ノード」が含まれています。IQ レポートは、IQ 結果のレポートにさらに柔軟性を提供するために、以前のバージョンのソフトウェア SystemsQT から更新されました。1 つの結果セットまたは結果を選択して「IQ Individual」レポートを使用すると、個々のノードに対してレポートを詳述または要約できます。複数の結果セットまたは結果を選択して「IQ All Selected」レポートを使用すると、複数のノードに対してレポートを詳述または要約できます。いずれのレポートにも手書き署名と電子署名を使用できます。電子署名で使用できるレポートは、レポート名に「_RS」が付けられています。



Empower、[THE SCIENCE OF WHAT'S POSSIBLE.]、および Waters は Waters Corporation の登録商標です。

LAC/E、および SystemsQT は Waters Corporation の商標です。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他すべての商標は、各所有者が所有権を有します。

Copyright © 2010 - 2016 Waters Corporation

2016 年 3 月



バックアップ書式、メンテナンス書式、およびメンテナンス手順は、それぞれのOQ結果セットで印刷されません。これらは、EmpowerソフトウェアSystemsQTのDVDで、PDFドキュメントとして利用できます。

ご使用の前に

Empower ソフトウェア SystemsQT または Empower MVM オプション用 Empower SystemsQT をご使用になる前に、必ず以下をよく読んで理解してください。

- **以前のバージョンのプロジェクト Valid_OQ1、Valid_OQApex、および Valid_OQMVM と Empower 3 Feature Release 3 を使用してソフトウェアを適格性評価することはできません。** DVD（品番 667004236 リビジョン E）の Empower ソフトウェア SystemsQT のフォルダーに含まれている新規プロジェクトのみを使用してください。
- 複数のモードで適格性評価を行う場合、プロジェクトテーブルスペースをそれに応じて設定してください。各 OQ プロジェクトに対して 500 MB 以上が推奨されますが、お客様の組織の要件によってスペースを増やすことができます。
- Empower 3 のシステムポリシーを、[V3.0X のピーク幅、検出感度の計算方法を使用] に設定する必要があります。
- EmpowerソフトウェアSystemsQTを実行するには、実行者は以下を行う必要があります。
 - EmpowerソフトウェアSQTまたはEmpower MVM SQTのライセンスを有効にします。
 - [プロフェッショナル] を使用して Empower 3 ソフトウェアにログオンします。
 - ユーザーの種類による管理特権 [Empower SQTの実行] を有効にします。
 - 新しいサービスパスワードを取得します。
- EmpowerソフトウェアSystemsQTを実行する前に、以下の条件が適用されることを確認します。
 - レポートを印刷する場合、少なくとも 1 台のプリンターが設定されていて、アクセスできる。
 - ネットワークが完全にインストールされており、設定されている。
 - すべての LAC/E^{32™} 取り込みサーバーおよびクライアントが、Empower 3 用に登録されている。
- Empower MVM SystemsQTオプションを実行する前に、以下の条件が適用されることを確認します。
 - MVMオプションのライセンスが有効である。
 - EmpowerソフトウェアSQTおよびEmpower MVM SQTのライセンスが有効である。
- Empower ソフトウェア SQT および Empower MVM SQT のライセンスを有効にした後で使用しているハードドライブに障害が発生した場合、または別の理由で Empower 3 を完全に再インストールする必要がある場合、Empower ソフトウェア SystemsQT を再び初期設定するために新しいライセンスが必要です。無効化されたライセンスだけを再使用できます。
- この後、必ず所属する組織の標準操作手順に従って、使用するメソッドおよびシステムのスータビリティを確認してください。
- エンタープライズ環境でのインストールでは、EmpowerソフトウェアSystemsQTを実行する前に、個別のサーバーIQ適格性評価を実行する必要があります。

- Empower ソフトウェア SystemsQT が正常に実行されると、ウィザードの「解析ノードの選択」ページで選択したノードでのソフトウェアインストールが使用に適格であると認定されます。

サポート対象オペレーティングシステム

サポートされるオペレーティングシステムの情報については、『Empower 3 インストール/構成ガイド』を参照してください。

インストールノート

インストールオプションの情報については、『Empower 3 インストール/構成ガイド』を参照してください。

Empower ソフトウェア SQT オプションディスクは、電子ライセンスに変更されています。詳細については、『Watersソフトウェアライセンス管理システムをご使用の前に』（Waterパーツ番号715002703）を参照してください。

要件： Empower 3 FR3 SQT OQ プロジェクトを手動でインストールする必要があります。このソフトウェアは、このバージョンのプロジェクトをリストアしません。プロジェクトをDVDから手動でリストアすることができます。プロジェクト名はValid_OQ1、Valid_OQApexおよびValid_OQMVMです。以下の正しい言語を選択しているかどうかを確認します。英語、日本語、中国語、韓国語。

エンタープライズ環境でのインストール

『サーバー用Empower 3エンタープライズまたはワークグループソフトウェア適格性評価ワークブック』（Watersパーツ番号715002791）で説明されているIQ手順を実行する必要があります。

サーバーの IQ 手順を実行する前に、いずれかのクライアントで下記の Empower ソフトウェア SystemsQT オプションを有効にします。

- EmpowerソフトウェアSQTオプション
- 該当する場合は、Empower MVM SQTオプション（別個のMVMオプションライセンスが必要）。

修正された問題

次の表には、修正された問題および関連する PCS（Product Change System、製品変更システム）番号が記載されています。Waters では、PCS 番号で問題の状況を追跡しています。

PCS 番号	Description (説明)
54478	ウィザードではレポートを印刷できません。以前は、ノードの解析に応じて複数の OQ レポートをウィザードから直接印刷した場合、レポートは印刷可能でしたが校合の問題が発生し、レポートを手動で並べ替える必要がありました。
54427	IQ で使用される Valid_OQ1 プロジェクトは、IQ を行う目的で明確に命名された別のサンプルセットを含むように更新されました。ウィザードでは、ノードに対して IQ リクエストが選択された場合、IQ サンプルセットは選択されたノードで自動的に解析されます。

PCS 番号	Description (説明)
	ノードに対して任意の組み合わせのリクエスト (IQ/OQ/OQ MVM) が開始されると、ノードのプロパティの [IQ/OQ] タブにある各情報が消去されます。たとえば、ノード A で IQ リクエストが開始された場合、[IQ/OQ] タブ (管理情報でのみ使用可能) では、[ステータス]、[実行日]、および [コメント] フィールドが IQ セクションでのみ消去されています。OQ および OQMVM セクションは、以前入力されていた場合、これらのリクエストが開始されるまで入力されたままです。[実行日] は、開始されたリクエストに対してのみ、自動的に入力されます (システムポリシーの設定を使用して)。ユーザーは情報を削除、変更、修正することはできません。これによって管理者は、いつ適格性評価要求がノードで行われたかを判断するためのすばやく正確なリファレンスを得ることができます。 SQT プロジェクトでは、[フィルター] に追加フィールド [IQ/OQ ノード] が提供されます。このフィールドは、あらゆるノードに関連する IQ/OQ 情報をすばやく参照して見つけることができるように、[結果セット] および [結果] タブで使用できます。[承認] タブには、この情報を表示するために使用できる既存の [解析ノード] フィールドがあります。
54075, 49139	IQ レポートソフトウェア適格性評価プロパティに対する以前の制限事項により、ユーザーは単に [すべてのノード] (ユーザーがアクセスできるすべてのノード) または [このノードのみ] (現在ログインされている個々のノード) のオプションを選択し、IQ レポートの情報を提供できただけでした。これらのオプションは、IQ レポートのソフトウェア適格性評価プロパティから削除されました。 Valid_OQMVM プロジェクトは、OQMVM が SQT ウィザードで要求されると、試験名およびそれに続く試験されたノード名が含まれる複製された OQMVM 試験を作成します。これによって、ユーザーは特定のノードをすばやく識別し、レポートを作成できます。
54648	PCS 54075 および 49139 に関連付けられた更新により、1 つまたは複数の IQ 結果セットを選択し、レポートに含めることができるようになりました。レポートには選択された結果セットの情報が表示されます。
544648	IQ レポートは、ノードの適切な識別を含むように更新されました (個別レポートの場合)。ノード間での改ページが含まれ、識別しやすく使いやすいように、印刷の日付/時刻が含まれています (選択されたすべてのレポートの場合)。
54555	IQ 結果セットは、SQT ウィザードの IQ リクエストの日時で生成されたチェックサムファイルに関連付けられます。SQT IQ リクエストから作成されたチェックサムファイルは、Empower データベースに安全に保存されるようになりました。
53589	韓国語の OQMVM レポートは、電子署名ができるように更新されました。
54000	既存のバリデーション結果は、以前は日本語の Valid_OQMVM プロジェクトで使用可能でした。このプロジェクトは、既存のバリデーション結果を削除するように更新されました。

既知の問題

次の表には、既知の問題およびその関連する PCS 番号が記載されています。Waters では、PCS 番号で問題の状況を追跡しています。

PCS 番号	Description (説明)
22861	Empower ソフトウェア SystemsQT を（Windows Live がインストールされている）Windows® 7 オペレーティングシステムで実行すると、インストール情報の詳細およびデータベース検証情報が IQ レポートに表示されない。